

## 2 平成 24 年度の主な実績と成果のふりかえり



平成 24 年度の主な実績と成果のふりかえりを、施策方針に沿ってまとめます。

### (1) 樹林地を守る

#### ア 確実な担保

##### <平成 24 年度の主な実績>

「緑の 10 大拠点」のようなまとまった規模の緑や、市街地に残る斜面緑地などの貴重な緑を保全するため、多くの土地所有者の方々の理解と協力を得ながら、特別緑地保全地区・市民の森・緑地保存地区などの地区指定を積極的に進め、平成 23 年度と同等の面積を新規指定することができました。

また、特別緑地保全地区の指定地等で土地所有者の不測の事態による買取りの希望等に、着実に対応しました。



緑地保全制度による新規指定等…107.6ha



不測の事態による買取り希望等への対応…45.1ha



①



②

- ①緑地保全制度指定により保全している樹林地の事例（都筑区／川和特別緑地保全地区）  
②買取りにより保全した樹林地の事例（旭区／今宿町特別緑地保全地区）

##### <平成 24 年度の成果とふりかえり>

- 指定目標には達していませんが、土地所有者の方々への働きかけを積極的に行うことで、100ha を超える樹林地を新たに保全することができました。
- 24 年度は横浜みどり税を活用し 4 か年で最も多い 45.1ha の買取りに対応しました。
- 保全対象の樹林地はまだ多くあり、働きかけの継続、維持管理の負担軽減など、土地所有者への支援の拡大を進める必要があります。




## イ 維持管理推進

### <平成24年度の主な実績>

緑地保存地区等の私有樹林地の所有者に対して、住宅地との境界部等における草刈作業や危険樹木撤去に対する助成制度の周知をさらに積極的に行い、多くの方に活用していただきました。

市民の森等の公開型樹林地では、多様な動植物が生息する健全な森とするため、その樹林地の将来像や維持管理の考え方を定める「保全管理計画」を市民協働により策定し、間伐や下草刈りなどの管理を進めました。

また、森づくり活動を行っている団体に対して、森づくり活動を支援するための助成や、道具の貸出などを行い、多くの団体に利用されました。

-  緑地保全制度に指定している私有地樹林地の維持管理の助成 …91件
-  保全管理計画を策定した市民の森等…5箇所
-  愛護会や森づくりボランティアへの活動支援…延べ85団体



- ①保全管理計画の策定事例  
(戸塚区/深谷市民の森)
- ②緑地再生等管理事業の事例  
(再生管理を行った樹林 瀬谷区/宮沢ふれあいの樹林)
- ③樹林地管理団体への支援の事例  
(組織運営やボランティア受入れ態勢を学ぶワークショップ形式の研修の開催)

### <平成24年度の成果とふりかえり>

- 緑地保全制度に指定している私有樹林地の維持管理に対する助成については、積極的な制度の周知と多くの助成ができたことで、所有者の管理の負担感を軽減することができました。
- 樹林地の特性に応じた保全管理のあり方について、活動する市民団体の方々と共通の認識を得て、管理を進めることができました。
- 森づくり活動団体への支援の工夫を行うことで、利用団体が増加し、活動が活発になりました。



## ウ 利活用促進

## ＜平成24年度の主な実績＞

多くの市民の方々に樹林地の魅力や保全の意義を啓発・PRし、楽しみながら樹林地の現状を知ることによって森づくりの活動に関心を持つきっかけとなるような、さまざまな体験型講座を実施しました。

また、樹林地の維持管理で生じた間伐材の活用を図るため、森づくり団体に対して、間伐材のチップ化作業の支援を行うとともに、間伐材を活用した製品を作成しました。

- ① 森への関心を高める講座…82回（参加者 6,815人）
- ② プレイパークイベント…6箇所（参加者 130人）
- ③ 森づくり団体への間伐材チップ化作業支援…25回



- ① 森への関心を高める講座の事例  
（「企業担当者向け生物多様性セミナー」、  
栄区／横浜自然観察の森）
- ② プレイパークイベントの事例（「街の中のプ  
レイパーク」、都筑区／都筑図書館）
- ③ 森づくり団体への間伐材チップ化作業支援  
の事例（チップを園路に敷きつめた様子、  
緑区／上山ふれあいの樹林）

## ＜平成24年度の成果とふりかえり＞

○様々な団体や施設と連携しながら事業を実施したことで、親子連れなど多くの参加者に、樹林地の魅力などについて広く啓発・PRすることができました。

○間伐材のチップ化支援により、放置された間伐材が活用されることで、樹林地内の環境改善につながりました。引き続き、多様な間伐材の利活用方法についての検討が必要です。



## (2) 農地を守る

### ア 農業振興

#### <平成24年度の主な実績>

市民の皆さまが身近なところで地産地消を実感できるよう、果物のもぎ取りや野菜の収穫などを体験することができる果樹園や農園の整備に対し、支援を行いました。

また、農家と市民・企業、様々な人や団体が連携した新たな地産地消の取組として、「食と農の祭典」をはじめとする様々な取組を展開しました。

-  収穫体験農園の整備に対する助成…5.3ha（32 箇所）
-  様々な団体、企業等が連携した、新たな地産地消の取組…7件



- ①収穫体験農園の整備に対する助成の事例（トマトの高設栽培施設、泉区）
- ②様々な団体、企業等が連携した新たな地産地消の取組の事例（食と農の祭典 2012）
- ③様々な団体、企業等が連携した新たな地産地消の取組の事例（横浜産小松菜とジャガイモを使用した新製品の開発、販売）

#### <平成24年度の成果とふりかえり>

○収穫体験ができる農園の整備は、おおむね目標どおりの支援を行い、市民の皆さまが果物のもぎ取りや野菜の収穫ができる場を増やすことができました。

○食と農の祭典などの実施を通じて、企業や市民団体との連携が進み、地産地消の取組が拡大しました。

## イ 農地保全

## ＜平成24年度の主な実績＞

農地の適切な管理と景観の保全を図るため、地域の農地を管理している団体に支援を行いました。団体が行っている道水路などの清掃活動や法面等を利用した景観植物の植栽・管理などに支援を行いました。

水田を保全するため、水稻耕作を10年間継続することを条件に支援を行っており、平成24年度も追加で承認を行うとともに、水稻作付けが確認された水田に対して保全奨励金を交付しました。

また、都市の中での農業を安定的に継続できるように、不法投棄が多発している農業専用地区などで対策を行うとともに、臭気や農薬飛散など、周辺住民とのトラブルを避けるために必要な設備等の導入を支援しました。

- 地域の農地の管理を行う農業者団体に対する支援  
…645.9ha（49 団体）
- 水田保全承認面積…114.4ha（うち新規承認 4.8ha）
- 農地への不法投棄対策…延べ 62 地区
- 農薬飛散防止ネットの設置…2.4ha



- ①水田保全契約により保全された水田の事例（青葉区）
- ②地域の農地の管理を行う農業者団体に対する支援（地区内にサルスベリを植栽した事例、金沢区）
- ③農薬飛散防止ネットの設置事例（緑区）

## ＜平成24年度の成果とふりかえり＞

- 農地の管理団体の支援については、支援団体数が増えるとともに、様々な活動を通して、地域全体で農地を良好に維持管理する意識が高まりました。
- 水田の保全がさらに進んだことで、良好な景観や都市環境の保全が進みました。目標の120haに向けて、一層の事業推進に取り組む必要があります。
- 不法投棄対策や農薬飛散防止ネットの設置などを積極的に進めたことで、都市の中での営農環境の向上を図ることができました。



## ウ 担い手育成・確実な担保・継続保有の促進

## ＜平成24年度の主な実績＞

認定農業者などの経営改善に必要な機械・施設の導入等に対して、目標を上回る支援を行いました。

農地の貸し借りを長期化する取組や、優良な農地を市が借り入れ、新規参入者等に貸し付ける取組を進めることで、農地の流動化を促進しました。

農地や里山景観を保全し、市民の農体験の機会を増やす農園付公園について、第1号を一部開園するとともに、施設整備に向けた設計を進めました。

- 経営改善に必要な農業機械導入等に対する支援…48件
- 6年以上の長期貸付を開始した農地…16.4ha
- 新規の農地貸借…11.0ha
- 農園付公園 設計…3箇所、施設整備…1箇所（0.1ha）



- ①経営改善に必要な農業機械導入等に対する支援の事例（コンバイン）
- ②新規の農地貸借の事例
- ③一部開園した農園付公園（旭区/南本宿第三公園）

## ＜平成24年度の成果とふりかえり＞

- 目標を大幅に上回る経営改善の支援を行うことで、市内産農産物の生産供給に寄与することができました。
- 農地の貸借が進み、遊休農地が耕作されることで、営農環境が向上するとともに、新たな担い手への貸付が進みました。
- 農園付公園の第1号が一部開園しましたが、順次設計を行い、早期開園を目指し整備を行うことが必要です。

### (3) 緑をつくる




#### ア 緑化推進

##### <平成24年度の主な実績>

地域の皆さまと横浜市が協力して、地域にふさわしい緑化計画をつくり、民有地と公共施設の緑化を進める「地域緑のまちづくり」の取組を進め、多くの地区で計画づくりが進むとともに、花壇や壁面緑化などの緑化整備を実施しました。

また、子どもたちがのびのびと遊べる緑の環境をつくりだすために、民間の保育園・幼稚園の園庭芝生化に対して助成を行うとともに、公立の保育園や小学校の園庭・校庭の一部芝生化を実施しました。

民有地緑化の推進については、沿道での花壇整備や屋上緑化など、さまざまな助成を進めました。

-  地域ぐるみで策定した緑化計画に基づき、緑化整備を実施した地区…11地区
-  保育園・幼稚園の園庭、小学校の校庭の芝生化…25箇所
-  屋上・壁面緑化に対する助成…12件



①地域緑化計画に基づき地域で緑化作業に取り組む様子（旭区／上白根国際地区）  
②園庭芝生化の事例（中区／錦保育園） ③屋上緑化に対する助成の事例（港北区）

##### <平成24年度の成果とふりかえり>

- 地域の皆さまの積極的な取組により地域緑化計画に基づき、地域での緑化整備の取組が進みました。
- 保育園や小学校など、市民の皆さまに身近な施設での緑化が進み、身近に触れることのできる緑を増やすことができました。この取組がさらに広がるよう、施設管理者の芝生管理技術の習得の支援などの取組をさらに進める必要があります。
- 民有地緑化では、より多くの市民の皆さまに身近な緑化に取り組んでいただけるよう、成果や実績をより一層PRするなど工夫する必要があります。